

その他の食料品製造業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11～12	物置の掃除をしていたところ、棚の上の物を取ろうとして、発電機（高さ30センチ位）を踏み台にして登ったところバランスを崩し地面に落下し、右足首を捻ってしまい受傷した。	29～49	30
1	16～17	醤油製造作業中にバランスを崩し、木桶の底に落ち、その際に身体を強く打った。	78～29	10
1	18～19	第二工場内国産プラントにおいて、業者と部品交換最中にバルブ開閉操作が終了し、作業場所から降りようとした際、消包剤補充専用踏み台に足を掛けようとしたが踏み外し落下し、踏み台の端に頭部を強打し負傷した。	43～99	50
1	10～11	弁当を納品中、14段の階段を上りきった時に立ち眩みがし、14段の階段を転げ落ち、左目下を負傷した。メガネの破損が原因と思われる。	53～99	50
1	8～9	当社内の原料庫搬入口にて、3メートルのはしごに登ってビニールシャッターを清掃中、誤って落下し負傷した。	60～9	1～9
1	16～17	当社事業場内に於いて、車庫の屋根（塩ビ製の波板）が一部破損していたので、破損箇所の張替補修終了後、屋根から降りるためハシゴのある場所へ移動しようと、母屋部分を歩行途中、左足を着いたときに母屋（木）の一部が折れ、そのまま真下へ落下（2m70cm）し、左手で地面に着き、左腕を負傷した。（ヘルメット着用、スニーカー履き、体重65kg）	58～9	1～9
		工場内洗い場においてパート2名が作業、1名が排水溝の清掃を行っていた。もう1		50

2	12~13	名は排水溝が開放しているのを聞き取り確認はしていたが別作業中に自分が持っていた用具で視界が悪く誤って転落した。（排水溝深さ70cm）（面積50cm×50cm）	67	~ 99
2	11~12	工場内にて麺計量機から降りようと階段（2段）を降りたところ、段を踏み外し、転落（21cm×2）した際、階段に背中を打ち負傷した。	51	10 ~ 29
2	17~18	1号釜で麺を茹でる時に機械を始動させても釜が動かなかったため、釜上部の駆動部分を確認しようとステップ台を出さない状態で上に足を掛け、確認後降りようとした際、足を滑らせて転落し、2号釜のステップ台で腰部を強打し負傷した。	36	100 ~ 299
2	16~17	第一工場造粒課北側廊下において、天井埋め込み型エアコンの脱落・洗浄作業時に、洗浄終了した後、一人で脚立にのぼり天井へ再度組み付けを行う際、最後に取り付けるカバーが不安定な状態となり（一旦取り付けたものが再度外れた）、バランスを崩し、1.1mの高さから背面より真後ろに身体をひねりながら転落し、両手首及び右胸部を打撲した。	42	100 ~ 299
2	10~11	工場内のゴミ集荷場において、ゴミのコンテナ（1200×1800×800cm）をフォークリフトで上げてトラックの荷台に移し替える作業中、足場を作って作業する規定があるにもかかわらず、足場を作る作業を怠ってしまいトラックの荷台からゴミのコンテナに乗り移ろうと足を掛けた際、ゴミのコンテナがバランスを崩して1.2mの高さから落下したものである。	35	50 ~ 99
2	8~9	給食センター北側の物資搬入口にある段ボール置場（地上より80cm高い）にて、潰した段ボールの積み込み・整理作業をしていた。両手に段ボールを持って運ぶ途中、積み込みからはみ出していた段ボールで床面が覆われ、床面が無い部分に気付かず踏み込んで右半身を下にして落下し、右大腿部を打撲した。	63	30 ~ 49
3	15~16	当社工場内において、キノコビンのキャップが入った袋を運ぶ作業中、高さ約1mの台に乗っていたところ、誤って足を滑らせてしまい、手をついたときに右手首を負傷した。	49	30 ~ 49
3	11~12	食品充填機（豆腐製造機）運転中、シール機が緊急停止し、復帰作業を行うため慌ててオーバブリッジを通行（降りる）しようとしたところ転倒した。通行時の状況としては、隣接している機械が洗浄作業中のためにステップが濡れており、早	46	50 ~

		くシール機を復帰させようと急いで手摺りも掴まずにオーバブリッジを降りて転倒した。		99
3	16~17	当社出先の事務所スロープ付近にて、業務を終えて帰宅するため、徒歩で病院敷地東口から公道に出る時、病院敷地は公道より約50cm高くなっているためスロープが設置されていたものの、疲れて何も考えずに歩いていたため、スロープを通らず敷地の段差に気付かず公道に落ちて、右足先を強く打ちつけた。痛みは感じなかったため、そのまま駐車場まで歩き、自動車を運転して帰宅した。その後、負傷部の痛みが増し、我慢できなくなり、右足親指骨折と診断された。	51	10 ~ 29
3	13~14	製麺機のコンベア上に引っ掛かった生地を取り除こうと、製麺機の端に上がって（高さ104cm）いたところ、誤って足を滑らせて落ちた。	69	10 ~ 29
3	10~11	本社工場内の2階麺製造室において、衛生管理上、定期的に粘着ローラーを使用し作業白衣に付いた埃を除去するため、粘着ローラーを使用した後、階段（6段）から降りる際、3段目あたりで足を滑らせ、床に尻を打ち負傷した。	34	30 ~ 49
3	13~14	工場プラットホームにて、豆腐容器の入った段ボール箱を補充の為、大豆の袋の上に乗り動かしたところ足が滑り、約1mの高さより転落し、右手首他を強打した。	69	10 ~ 29
3	11~12	給食共同調理場で、ガス釜上部のダクトを掃除しようとガス釜のふちに足を乗せ、ダクトカバーを外していたところ、バランスを崩して背中から転落し、左腕を骨折した。	59	30 ~ 49
4	11~12	4tトラックに積んであった製めん用の生地を降ろすため、パレット積みの荷物にかけてあったシートをはがすため荷台に乗り作業をしていたが、トラック荷台の真ん中あたりにさしかかった際、シートをはがした勢いで荷台より落下し、右足甲部を強打し負傷した。	65	10 ~ 29
4	11~12	お茶漬け充填機室で、充填機横のステージ上で充填機上部の清掃をした後、ステージから降りようとして一段低い踏み台に足をかけたところ、踏み台から足を踏み外して転落し、床面に尻もちをつき、両臀部打撲・腰椎椎間板ヘルニアを負った。	35	100 ~ 299

4	10～ 11	壁はしごを踏み外して落下し、左手薬指付け根を柱に強打し骨折した。	27	50 ～ 99
4	9～ 10	野菜カット作業場で歩いて移動中、側溝のグレーチングの1ヶ所がされていなかったため、深さ50cmの側溝に右足が落ち、右足小指を骨折した。	55	100 ～ 299
5	14～ 15	給食麺納品用箱の回収作業を終え、運搬用のトラック荷物積載内部（荷台）から外へ出る際、後部ステップに足を乗せきれず踏み外し、上半身から地面方向へ落下して左肘に直撃し、右膝を強打して転倒した。	34	100 ～ 299
5	7～8	機械へ原料を投入する為にパイプの取付作業を行おうとした際、通常利用する長い脚立（110cm）が他で利用されていた為、短い脚立（78cm）を使用し脚立に登ったところ、通常の長い脚立を使用していると思い込み、足を踏み外し落下した。落下時に左腕と左足を天板や脚立横に配置されていた掃除機にぶつけ負傷した。	54	100 ～ 299
5	9～ 10	加工場の外周にて、冷氷設備の点検作業中、梯子を下りようとした時に誤って足を踏み外し転落し、背中を強打して肋骨を骨折する。	53	30 ～ 49
5	16～ 17	社内作業場前で、営業車（バン）から茶類の荷物と商品を降ろす際にステップから足を踏み外して転倒し、腰部を打撲骨折した。	56	10 ～ 29
6	13～ 14	賄い食の用意が終了した為、休憩しようと階段を下りていたところ、階段を踏み外し、転倒した際に右膝を捻り、右膝を捻挫負傷した。	69	30 ～ 49
6	16～ 17	ベルトコンベア清掃の為、作業台の上で作業をしていたところ、バランスを崩して作業台から落下し、左腕を負傷した。	57	50 ～ 99
6	8～9	当社工場内において、2階で着替えて現場に向かおうと階段を下りていた際、足がもつれて階段から転落した。（13段中7段目から）その際、階段の角に額を打ち、	58	50 ～

		後頭部も階段に強打し受傷した。		99
6	12~ 13	茶畑で摘採中に、乗用機械から落下し、身体を地面に打ちつけて負傷した。	30	1~ 9
7	16~17	当工場第2工場入荷場入口にて、第1?第2工場間荷物搬送トラックに、フォークリフトを使用して空パレットを積み込む作業をしていたところ、通常12枚で幌の天井がいっぱいになるが、そのときはそれ以下の枚数しか積載できなかったためパレットを再度積載して、そのまま（フォークリフトのマストを下げずに）いたところ、マストが入口シャッターにぶつかりシャッターを歪めてしまった。受傷者はこれくらいなら営繕係の手を借りなくても修理できると考えて、パレット4枚（高さ約50cm）をシャッターの下に運んだ。受傷者はパレットを踏み台にして、シャッターのゆがみ具合を確認していた。パレットから降りようとしたところ、パレット端から足を踏み外して床面に顎を強打した。	32	30 ~ 49
7	8~9	出勤時、合同庁舎の駐輪場で自転車を止めて降りようとしたときに、自転車とともに左側に倒れ、腰を打ちつけた。	48	100 ~ 299
7	8~9	圧搾室2Fで諸味充填前準備をしているとき、諸味をのせるステンレスの板にワイヤーを引っ掛けるためその板を仮置きさせる金具（4ヶ所）を出し忘れ、板の重みと勢いで落下した。	56	10 ~ 29
7	15~16	被災者は工場の3階から下り方向を掃除機で清掃中に誤って転落した。その際右手を着いたため右手首を負傷した。	60	300 ~ 499
7	3~4	フィルター交換のため、棚上部にあるオイルフィルターを脚立を使用して取ろうとした。その時に足を滑らせ転落、右脇腹を強打した。	62	100 ~ 299
7	7~8	事務室において、事務用肘かけ椅子（キャスター付）に乗って棚の上の荷物を整理していたところバランスが崩れ椅子が突然動いた。このため、椅子の肘かけ部分で腰を強打し床に落ちた。	67	10 ~ 29

7	0~1	ライン作業終了後、設備上（機械）の清掃をするためにステンレス製の作業台（高さ30cm）を設備横にセット、その上に登った。その際、ペンキ仕立ての滑らかな床面に作業台が滑り、作業者は体のバランスを崩し転倒。転倒した際、左側背中を作業台に打った。	56	100 ~ 299
7	14~15	工場内の1階作業場から仕込作業で発生したゴミを作業場裏手に設置のゴミ収集庫に廃棄するため、北作業場のドアを開き階段を下りかけた時に足をすべらせ前面右側に転落、左手にゴミ袋を持っていたため右手のみで体全体を支える形になり右肩を負傷した。	60	50 ~ 99
7	16~17	天かすを揚げる工場内で原料ミックスミキサーの清掃の際、設置場所が地上1.5m位のところにありその間の階段から転倒した様子。（本人があまり覚えていない）	37	1~ 9
7	11~12	味噌の仕込み桶で、桶内の洗浄作業を行うため、内部に立て掛けたはしごを下りている時に足を踏み外してしまった。この時、安全ベルトをしていなかったため、約1.5mの高さから落下してしまい、両足の踵を骨折した。	61	100 ~ 299
7	14~15	油揚工場の包装室において、天井の拭き掃除をしている時、乗っていた台（高さ80cm・縦60cm・横120cm）から足を踏みはずして、前方へ落下し、左足の踵を骨折した。	40	50 ~ 99
7	10~11	会社の倉庫前広場でトラックを止め、部品を助手席側で探し、降りる際に足を滑らせ膝をついて骨折した。	62	10 ~ 29
7	14~15	当社包装工場において、10分休憩のときに喫煙するため、2階の作業場から包装工場出入口横の喫煙指定場所に向かい、2階から1階へ階段を降りていたところ、誤って右足を踏み外しそうになり、咄嗟に6段下の踊り場まで飛び降り、バランスを崩しながら着地し、右足首を捻り受傷した。	52	100 ~ 299
7	11~12	学校給食センター内洗浄室の8号機後方にて、壁面の扇風機を清掃するため、ラ作業しようとラック台に登ったときに、ラック台が後方に転倒した。地面に手を強くき、右肘部分を骨折した。	43	30 ~ 49

7	6~7	3tトラックの荷台で、箱の入ったカーゴを降ろす作業をしていた。本来は、下降リフトがトラックの荷台の位置に到達したことを確認して降ろす作業をすべきところ、確認せずに後ろ向きで後方にあるカーゴを前方に移動していた。その際、荷台から下降しているリフトに落下した。(高低差97cm)	66	30 ~ 49
7	12~ 13	工場内にて、搬入車両(平ボディ車)の荷台の上で、カートを降ろしやすい位置に移動する作業中、誤って足を踏み外して転落し、左肘を負傷した。	18	1~ 9
7	6~7	事業所において、ゴミ捨てるためにゴミ袋を持って外階段を降りているときに、下から7段目位から滑り落ち、その際に手をつき、左橈骨遠位端骨折を負った。	52	1~ 9
7	14~ 15	同僚2人と共に、山林の標高約800m地点にある飲料水取水タンクの清掃作業後、山林内に敷設の水道パイプに沿って点検作業をしながら斜面を下山中に、標高約400m地点付近で谷へ滑落した。付近は岩場と急斜面が多く、パイプ敷設ルートは山道や作業道ではないため、安全な歩行には適さない所が多い。本人は数度このルートの踏破経験があるが、注意を要する中で起きた滑落事故であり、骨折・打撲等の重傷を負った。	28	10 ~ 29
7	9~ 10	加工場において、パレットに商品をおろす作業をしていたとき、パレットの横に台車(キャスター付き)があり、台車があることを知らず台車に乗ってしまい、バランスを崩して転倒した。その後、左手が腫れていたことから病院へ行き、左手にひびが入っていると診断された。	63	10 ~ 29
9	10~ 11	倉庫の前で、フォークリフトで芋の入った鉄のコンテナをダンプの荷台に移す作業中、鉄のコンテナのロックを外すため、被災者が荷台の足場に登り、ロックを外し、降りる際に体勢を崩して落下し、左の大腿骨を骨折する。	53	1~ 9
9	14~ 15	工場内包装場の縦ピロ5号機の階段上部横に設置されているエージレス(乾燥剤)投入機にエージレスを補充している時、バランスを崩し投入機との間に頭から床に転落、脳挫傷を負ったものである。	50	100 ~ 299
9	11~ 12	別の従業員が揚げ物室フライヤーにて廃油を一斗缶に取り出している時に、付近で別作業を被災者が行っていた。その際に足を滑らせ、廃油取り出しのために開いていた通路のグレーチングに足が落ち、臀部から転倒し、尾てい骨を骨折(ひび)した。また転倒したはずみで廃油の入った一斗缶を蹴ってしまい、廃油注ぎ口か	30	30 ~ 49

		ら溢れた高温の廃油が右足ふくらはぎにかかり、火傷をした。		
10	9～ 10	駐車場において、製粉（30kg）を配送中、段差で左足を踏み外し、捻挫受傷した。	35	30 ～ 49
10	16～ 17	製麺作業中、工場の搬入口から外に出る際、階段を踏み外して落下し、腰回りを強打して、右大腿骨を折った。	60	1～ 9
10	15～ 16	色選機械掃除中に脚立から足を滑らせて横に落下してしまい、腰を強打してしまった。	53	10 ～ 29
10	9～ 10	工場内の調理麺室への入口で、コンテナ（約30cm×50cm）を持ち、両手がふさがった状態で、急いでいたのでスイングドアを左肩で押して開けようと勢いよく押したところ左肩を脱臼した。	23	50 ～ 99
11	8～9	潜水器漁をしている最中に窓の視界が悪くなった為、左前方のへりに乗って前方の窓を拭き取ろうとした時に、足を滑らせて転倒してしまった。	44	100 ～ 299
11	11～ 12	当店作業所において、2階の樽に醤油を入れる作業を終えて、1階に下りる際、木製の梯子の中程で足を滑らせ体のバランスを崩して梯子から落下し、左足踵を負傷した。	60	1～ 9
11	20～ 21	包装設備の洗浄業務にて、ラインの消毒の為に次亜塩素酸Naが入った噴霧器にて噴霧作業を行っていた。噴霧場所は計量機のホッパー箇所であり、位置的に高所にある為、高さ約60cmの足場が設置されている。その足場に噴霧器を置き噴霧していたところ、噴霧器が足場から落下しそうになり慌てて落下を阻止しようとした。その際、自身がバランスを崩して右向きで地面に落下した。	53	10 ～ 29
11	15～ 16	倉庫入口前で木の剪定作業が終了し三脚脚立から降りようとした際、脚立のバランスが崩れ脚立と共に落下した。	66	50 ～ 99
		工場の出入口付近で空のパン箱をトラックの荷台から出す作業中に、不注意で足が		10

11	6~7	滑り荷台から落下した。	38	~ 29
11	11~ 12	食用油製品の出荷口において被災した。トラックの荷台で作業を行い、荷台から降りる際、トラックがわずかに前進し、バランスを崩して背中から転倒した。出荷口にある段差の角に背中を強打し、救急車で病院に搬送され、胸椎骨折と診断された。	60	~ 299
12	12~13	工場にて、ふかし室の天窓を清掃するため、梯子をかけて作業していたところ、梯子の土台部分が滑り出したことで作業者がバランスを崩し約3mの高さから落下し腰を強打した。	42	~ 49
12	15~16	退社時、センター内の2階から1階に下りる階段で、2階の途中から、足に力が入らず1階と2階の踊り場まで滑り落ちた。その際、踊り場の壁に激突し、頭部および左胸、腰を強打した。頭部に異常はなかったが、左足大腿骨の骨折と診断された。	52	~ 299
12	10~11	清掃中、誤って足を踏み外し、段差1.2mの予備室へ落ちた。腰から落ち、左大腿骨を骨折した。	56	~ 49
12	4~5	海苔枠に入った船を救助するため、漁場に向かい作業を行っていたところ、船の上から船底を見るために開閉出来るボックスが破損していたのに気がつかず、落下した。	55	1~ 9
12	13~14	大豆を浸漬する工程で、洗穀機の大豆を製品タンクへ移すためホースを引っ張っているとき、バランスを崩して40cm位下の通路へ足を踏み外し、右足を負傷した。	58	~ 299

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)